

札幌市立真駒内中学校 学校だより け や き



令和7年（2025年）度 第6号
発行日：令和7年（2025年）12月25日（木）
編集発行：札幌市立真駒内中学校
所在地：札幌市南区真駒内幸町3丁目1-1

言葉の力を信じて ~2学期終業式に寄せて~

校長 太田 大輔

夏休み明けに発行した学校だよりに教頭が書いたように、私は、2学期の始業式で「言葉」について話しました。そのせいか、私自身、言葉や言葉の力について考えることが多かった2学期でした。

言葉は、自分の想いを伝えるために生まれてきた。

言葉は、人を救うことがあれば、人を傷つけることもある。

言葉の力を実感すればするほど、言葉を使うことを躊躇してしまうかもしれません。しかし、言葉にしないと、自分の想いを伝えられません。ですから、言葉を使い続けなければならないのが人なのだと思います。

校内を歩いていると、子どもたちの想いの詰まったたくさんの言葉が目に入ります。テストや受験に対する不安な気持ち、卒業や9年間ともに学校生活を過ごしてきた友達との別れのこと、川柳や詩、作品の解説など、言葉を通して、子どもたちの想いを感じ取ることができます。近年の生成AIの発達には驚かされますが、子どもたちの言葉に触れていると、人の持つみずみずしい感受性にはまだまだ追いついていないと思います。

しかし、それと同時に、そのみずみずしい感受性ゆえに、人は言葉によって傷つくこともあるのだとも思います。言葉だけでは伝わらない、まして、短い言葉ではなおさらです。世の中では依然として、SNSに関するトラブルがなくなりません。心が痛む、悲しい現実です。

言葉の力を自覚し、悪気なく軽い気持ちで発した言葉であっても、その言葉が意図せず人を傷つけてしまうことがあるということを、私たちは意識しなければならないと思います。特に、みずみずしい感受性を持っている子どもたちには、それが人の命に関わることに発展しかねないということを学んでほしいと思います。

私たち教職員は、笑顔いっぱいの学校にするために、人を救うという言葉の力を信じて、子どもたちに想いを伝えてまいります。これからも、保護者の皆様、地域の皆様のお力を貸しください。

明日からの冬休みが、子どもたちにとって充実した実りの多い毎日になることを心から願っております。保護者の皆様、地域の皆様には、本年も大変お世話になりました。ありがとうございました。どうぞ、よいお年をお迎えください。

保護者の皆様：期末懇談・学校評価アンケートのお礼

2学期期末懇談への御来校、並びに学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。懇談やアンケートでいただいた御意見等については、年度末の会議で検討し、今後の学校運営に反映していきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

各学年総合「キャリア学習」

11月に入り、各学年の「総合的な学習の時間」に、自身の進路や将来について考えるために『キャリア学習』を行いました。

《1学年「職業調べ—職業講話」》

1学年では、東京書籍の教育総合サイト「EduTown」を用いて一人一人が職業についての調べ学習を行い、様々な職業について知識を深めました。11月13日(木)には、札幌市環境局の方や放課後デイサービスの経営をされている方などを招き、小グループでの職業講演会を行いました。実際に働いている方々からお話を直接聞くことで、それぞれの職業観を高めることができました。職業調べレポートでは、これまでの活動で知ることのできた職業の詳しい仕事内容だけでなく、働く中のやりがいや今からやるべきことも考え、まとめることができました。

《2学年「職業体験」》

11月13日(木)に2学年職業体験を行いました。生徒は事前に体験したい分野を選び、当日は21か所の事業所で体験させていただきました。地元の事業所をはじめ、引き受けいただいたすべての方に感謝しております。体験先で生徒たちは、真剣な表情で説明を聞き、丁寧に作業していました。実際の職場で体験してみると、仕事のやりがいや奥深さを実感することができたようです。事後アンケートではどの事業所の方からも「積極的」「挨拶が良い」「真面目で熱心」とおほめの言葉をいただき、生徒たちにとって大きな自信になりました。体験後生徒たちは学んだことを個人レポートにまとめました。生徒の作品を廊下に掲示しておりますので、御来校された際には是非御覧ください。

《3学年「進路について」》

11月18日(火)、札幌龍谷学園高等学校の生徒を招き、現役高校生の話を聞く会を行いました。

高校生たちは、タブレットや高校の教科書を用いながら高校生活や自分自身に関するプレゼンを見事に行い、加えて、高校と中学の違いや自分自身の受験の体験記など、中学生の素朴な疑問に丁寧に答えていました。プレゼンを堂々とこなす姿に憧れをもつ生徒もいました。

また、本校卒業生も「先輩」として参加し、後輩たちに一生懸命説明している様子が印象的でした。現役高校生のリアルな声を聞ける貴重な機会だったこともあり、生徒たちは「高校生活が少しイメージできた」、「受験の体験談がすごく参考になった」と感想を口していました。

その後は、面接についての知識や実際の練習をはじめ、それぞれの進路実現に向けての課題に取り組んでいます。1年生から取り組んできた「職業調べ」「職業体験」が一人ひとりの進路選択へつながっていくことを期待しています。

歳末募金活動への御協力 ありがとうございました

12月5日(金)～12月11日(木)に、生徒会活動の一つとして行った歳末募金活動では、多くの保護者の皆様に御協力をいただき誠にありがとうございました。集まった募金(合計79,584円)は「公益財団法人日本ユニセフ協会」と「日本赤十字社」(令和6年能登半島地震災害義援金・令和7年8月6日からの大雨災害義援金[熊本県・鹿児島県])へ送らせていただきました。

全学年道徳講演会

12月2日(火)の5・6校時に、体育館で全学年道徳講演会が開かれました。

講師に、助産院あさ代表の吉裕子先生をお迎えして「生と性について考えよう…あなたへのメッセージ」を演題に、助産師の仕事や思春期の心と体の変化、多様な性などについてお話をいただきました。思春期におこる変化や交際についてなどの話を聞き、周りの人と考えを共有しながら学んでいくことができました。

講演後の生徒の感想文では、「自他ともに尊重して行動することの大切さについて考えさせられた。」「思春期の悩みは閉じ込めるのではなく、誰かに伝えることが大事だと教えていただいた。」「くう・ねる・わらう・体を動かす」という言葉がとても印象に残った」などの振り返りがあり、有意義な時間となりました。



冬季休校日について

札幌市教育委員会では、昨今、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務等への対応策として、冬休み期間中に「冬季休校日」の取組を実施しております。

これに伴い本校では、年末年始の休日と連続して1月5日(月)6日(火)を冬季休校日とさせていただきますので、御理解と御協力を願いいたします。

なお、冬季休校日の取組に関するお問い合わせは札幌市教育委員会教職員課労務係(211-3855)にお願いします。